



愛か映画か。

密迎の
ほんきーとんく

監督
堀井 彩



辻岡正人 吉沢明歩 安藤彰則 神楽坂 恵 今野悠夫 椎葉 智 ホリケケン。友光小太郎 浅利英和 にしやうち良 増田俊樹
 監督：堀井 彩 エグゼクティブ・プロデューサー：小田泰之 プロデューサー：増田俊樹 アソシエイト・プロデューサー：森口あゆみ 弘瀬謙二 脚本：堀井 彩 小田泰之 撮影：百瀬修司 照明：太田 博 録音：松本治樹 音楽：弘瀬謙二 花澤孝一
 編集：岡田しのぶ MA：杉山 勉 撮影助手：宮原かおり 演出補：若澤宏樹 東京豊治 スチール：大塚俊介 制作担当：榎井 健 ヘアメイク：多野亜季 特殊メイク：倉茂南真 エンディング曲：「目抜き通りに踊る」ローリーtyti (レコーズエンターテインメント) 株式会社：Cruciator
 製作：配給：アムモ 制作協力：芸能事務所ムーンストーン 有限会社エアーワーズ 宣伝：太業株式会社 アムモ 宣伝協力：株式会社月の石 株式会社adm ©2008 アムモ www.madobeno-honky-tonk.com

New Cinema Crusaders = ニューシネマの改革運動者



邦画ブームと呼ばれて久しいが、大資本主義の中で生まれていく大型作品を横目に、我々のようなインディーズ映画界に身を置くものには何かが可能なのか。大型資本を投下しない良い映画を製作することはできないのだろうか。また、多額の宣伝費を使わないで多くの観客に見てもらうことは不可能なのだろうか。本シリーズは、まだ商業デビューしていない作家監督たちの、まだ見ぬ才能の発掘をサポートし、そのステージを提供することにより、新鮮な驚きを映画界に投じる事ができればと思って立ち上げた企画シリーズです。
 "Crusaders"の語源と思われるCruciatorはラテン語で十字軍という意味があります。その昔、十字軍が聖地エルサレムを奪回しようとしたように、我々は映画の何を取り戻そうと言うでしょうか。我々にとってのエルサレムとは何なのか。その問いへの挑戦を始めたと思っています。

自主映画界で異彩を放つ 監督・堀井 彩が描く “性春群像劇”

下品、お下劣、何悪い!?
 娯雑こそ芸術、芸術こそ娯楽。
 —— 高須基仁 (出版プロデューサー)

青春を描く映画って、やっぱり痛いでしょう。
 この作品のように人間に迫っていれば迫っているほど、痛みは大きい。
 —— 赤木智弘 (若者を見殺しにする国—私を戦争に向かわせるものは何か 著者)

ひたすら頑張る主人公は、青春ラブストーリーには必須だと思います。
 ヒロインの吉沢明歩さんは、まさに等身大的な役柄で非常に印象的でした。
 —— 河村永徳 (『新スパイガール大作戦—悪星からの侵略者』監督)

恋愛と性に対して世界が直面しつつある問題に、この監督は問題提起をしている。
 —— 草加大介 (恋愛塾 塾長 / 『口説きの鉄則』著者)

やわらかな青春映画といえる新作の『窓辺のほんきーとんく』にも、
 堀井 彩の狂気は確かに埋め込まれている。
 —— 深苗義也 (『紙の煙草』ニッポン主義者同盟 <遊部派> 連載)

増田俊樹氏の演技には無理がない、やっぱり役者をやった方がいい。
 私は革命家ではなく右翼運動家になったのだが、
 映画を創る事によって革命を目指す青春群像に触れ、
 私も映画を撮りたいと思った。
 —— 鈴木邦男 (評論家 / 一水会 顧問)

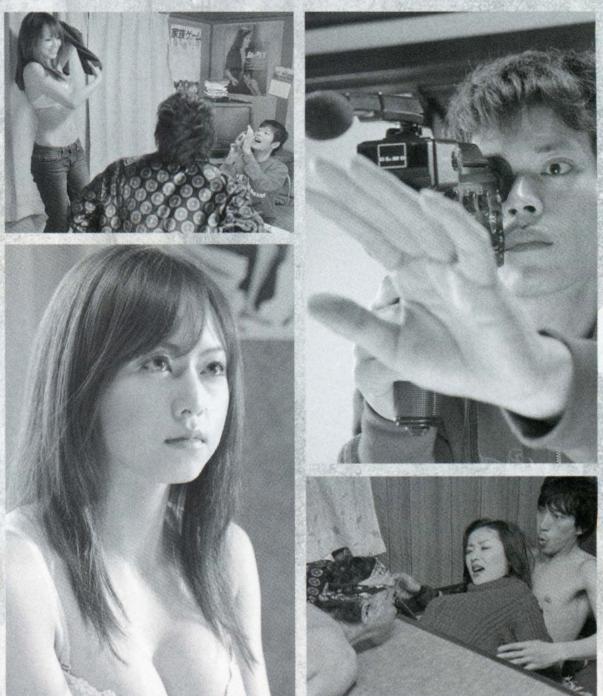
どこか懐かしく、ノスタルジーで ほの温かいヒューマンドラマ

アメリカンニューシネマやヌーベルヴァーク、ATG、ロマンポルノに影響を受け、徹底した肉体描写によって孤独な魂の彷徨を描いてきた新鋭監督・堀井 彩 (ほりいひかる)。ゆうばり国際ファンタスティック映画祭をはじめとする多くのインディーズ映画祭において波紋を投げかけた『忘れられない女』や、続く『東京女』『異形ノ恋』『泳げない女』で熱狂的な支持を集めてきた彼女が、本作『窓辺のほんきーとんく』では、これまで同様、肉体描写によって人間の孤独や絶望、その果てにある希望を描き出す手法を用いつつも、社会からはみ出した大人たちの青春 (性春) を温かく、どこか懐かしく、人間臭く描ききった。

奇才の新鋭監督・堀井 彩 × 個性派キャスト!!

『クローズZERO』などで知られるバイオレンス映画の申し子・辻岡正人。その辻岡がプロデューサー・増田俊樹からの強い推薦を受けて主人公に大抜擢。そして、21世紀を代表するセクシーアイドル・吉沢明歩をヒロインに迎えて描いた最新作が、この『窓辺のほんきーとんく』だ。
 今作は監督・堀井 彩の胸中に秘められた狂気を、時にユーモアを交えて描く演出にも注目。辻岡&吉沢の主演コンビも従来のイメージをかなぐり捨てた斬新な魅力を放ち、更に京都・太秦撮影所で様々な修行を積んだ新鋭・安藤彰則が狂気の映画監督役として競演! 女優転身の神楽坂 恵、カルト俳優のホリケン。に加え、歌手の正田紗也、『素人の乱』の松本 哉、『桃色ゲリラ』の画家・増山麗奈も友情出演! スクリーン狭しと鮮烈な印象を残す!!

STORY 勤務する会社が突然倒産し、職を失った石井晃 (辻岡正人) のもとに、大学時代の映研の先輩・村崎 (安藤彰則) が押しかけてくる。「とにかく映画を撮る」という村崎の熱意と勢いに負けて一緒に映画を作るようになった晃。オーディションでメンバーを募って、二人のもとに集ったのは、大学生で映画オタクの野村 (椎葉 智)、OLでどこかいやらしい雰囲気な多菜子 (神楽坂 恵)、昔自主映画をやっていたという中年男・峯田 (ホリケン)、フリーターで役者志望のみちる (今野悠夫)、そしてヒロイン役に合格した真名水 (吉沢明歩) の5人。そして、その日から晃の家に当たり前のように居座る村崎と、行く当てのない真名水の奇妙な3人の同棲生活が始まるのだった...



2008 / 日本 / カラー / 80min. ©2008アムモ

公式HP: www.madobeno-honky-tonku.com

9月27日(土)より池袋シネマ・ロサにて
 “平手打ち” レイトショー!

特別鑑賞券 ¥1,300 (税込)
 劇場窓口、プレイガイドにて発売中!
 初日舞台挨拶、イベントあり。上映時間など詳しくは公式HP、または劇場まで。
 ☆毎週水曜日(女性割引デー)、女性のお客様は¥1,000にてご買いただけます。
 ☆毎月1日は(映画サービスデー)、どなたさまも¥1,000にてご買いただけます。

池袋西口・ロサ会館
池袋シネマ・ロサ
 03-3986-3713
www.cinemasosa.net

